瀋陽剣道訪問記

下定雅弘

2015. 10. 4

【訪問の目的と経緯】

9月11日(金)~9月16日(水)、瀋陽に行き剣道の交流をしてきた。友人に宛てたメールをコピーして、いきさつの説明に代えよう。

※友人とは太田亨さん。愛媛大学の教員で、五山の学僧が中国文学をどのように吸収したかを研究されている。剣道六段。

「岡山大学の長春事務所長をしていたことと、剣道を続けていることが重なって、意義のある企画が実現しました。9月12日、13日、中国剣道連盟の主催により、瀋陽で第一回東北剣道 open 戦というものがあり、12日は講習会、13日が試合で、この指導者として、私の剣道の恩師を招待してくれたのです。結局、八段二人、七段二人、恩師の奥さま、私、計6人を招待してくれました。

去年の秋、東北大学との交流で瀋陽に出張した際、仕事の終わった後、瀋陽の剣道場に稽古に行き、そこの館長と話したのがこの企画のきっかけでした。道場に稽古に行ったのは、京大中文の同期のともだち中谷豊君が、退職後、瀋陽で日本語教師をしていて、その学生が道場で稽古をしているので見学に行き、稽古の真剣さに感動して、私に一度、稽古をつけてやってほしいと、メールしてきたからです。私は稽古をつけるような人間ではありませんが、ご承知のように剣道は好きで、防具のキャリーバッグも買って、道場に行ったのです。

ところで、この剣道の恩師は、瀋陽で生まれ、六歳で引き揚げてきた人なのです。それで、恩師に瀋陽行きのことを話したら、二つ返事で引き受けてくれたのでした。当時の古い地図を入手して、恩師の幾つかの記憶(父上が税務署員、鉄道の近く、駅はなかった等)を頼りに、恩師が住んでいた場所を特定しました。

いろんな機縁が重なって実現した、日中友好の交流です。

というわけで、八段お二人(私の恩師坂田良一先生と熊本の田辺秀昭先生)、七段お二人(宮本啓一先生・倉都滋之先生)の世話役兼通訳として、瀋陽に行き、剣道もし通訳もしてきました。12日の講習会には140名が、13日の試合には160名以上が参加。準優勝が、春、東京で開かれた世界大会に出たチームで、これを中国剣道連盟会長が指導する道場のチームが降して優勝しました。瀋陽に、これから毎年、来てほしいということです。この活動、近いうちにhpにアップしたいと思います。

先日、8月末、福岡での昇段審査、落ちました。これで六段に11回不合格です。3月に完全退職して、ようやく稽古時間を確保できるようになりました。真剣に稽古に励んでいます。

以下、自分の日記から。

9月11日(金)

飛行機は南方航空。CZ612、13:10 発。瀋陽桃仙空港、14:55 着。

南方航空の G カウンターで待ち合わせた。坂田先生・田辺先生は、防具を大きなスーツケースに入れていた。スーツケースに入るのだ。宮本先生は奥さまが見送りに。



坂田先生・倉都先生、27号ゲートで。

飛行機の座席は、田辺先生の右隣。8月末、福岡での昇段審査、六段不合格だったことを 話し、田辺先生の指導を受けた。田辺先生の言葉:

- ■昇段審査は、相手を動かす、使うことが必要。
- ■光らないとだめ。
- ■「攻めということを考えている。攻めを身につけたい」というと、田辺先生、「攻めは剣道の原則。基本を一つ、一つ、まともにしていくこと。そうすれば攻めが効くようになる」。

桃仙空港に着くと、張さんの車と、別の車2台に分乗して市内へ。ホテルに行く前に、明日・明後日の会場を見ることになった。会場は、瀋陽市和平区全民健身中心の4階、羽

毛球館(中山公園の南門傍、夜未央酒吧の向かい)。

ホテルは、錦倉文華精品商務酒店 (瀋陽市鉄西区建設東路 23 号)。今回、我々を招き一切の面倒を見てくれた張新玥さんが住むマンションの斜め向かいにあるホテル。

夕食はホテル近くの「新洪記餃子館」で。ホテルの向かい。ここで出た、蒸し餃子が、 子供の時に食べた味だと、坂田先生感激していた。



蒸し餃子。坂田先生、「うん、これが子供の時に食べた味だ」。

参加した剣士たちの全員に剣道を始めた理由を聞いた。多かったのは、一生できる、これが数人。精神修養のためが、2,3人。この他、「流浪に剣心」が格好よかったので、が一人。身体の故障・病気を治すためが一人。中国武術と剣道の両方を今もしている人が一人(これが王巍巍さん)。



張さんと奥さん。奥さんも剣道をしていたらしい。娘さんがいま三歳。剣道をさせている。



前列左から(敬称略)、倉都滋之・坂田良一・田辺秀昭・宮本啓一・坂田正子。後列左から、王巍巍(世界大会選手)・下定・張新玥・馬筵宏(張新玥さんの弟子)・? (すいません)・? (同上)・? (同上)

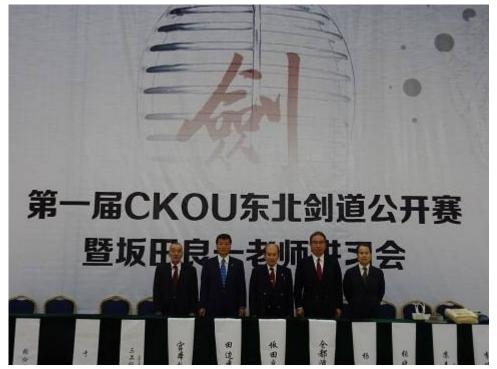
夜、ホテルで。おそらく「新洪記」(303 号室) にメガネを忘れた。気づいて、すぐに店

に行き、303 号室に行くともう綺麗に片づけられていた。服務員、「メガネは無かった」。しかし、テーブルクロスを置いてある部屋を見に行こうと連れていかれ、残飯を包んだテーブルクロスを幾つも開けて、探してくれた。感謝! 結局なし。このメガネ、買ったのはいつだったか。おそらく 20 年近く前。もう、度も合わなくなり、新調の時が来ていた。これはあきらめがつく。

9月12日(土)

朝、7時45分出発。

健身センター4階へ。



CKOUは、中国剣道連盟のアルファベット略称。



坂田先生と奥さま正子さん。奥さまは、着物の着付けの講師。

■以下は、中国剣道連盟の official hp から転載。

第一届 CKOU 东北剑道公开赛暨剑道讲习会胜利闭幕

(2015-9-20)

2015年9月12日-13日,由沈阳市体育局,沈阳市体育总会,沈阳市全民健身中心支持承办,三荣武道具,长白山泉饮品公司协办,第一届CKOU东北剑道公开赛暨剑道讲习会在沈阳市全民健身中心成功举办,来自东北三省及全国各地的近二百名剑士参加了是次活动。

【参会嘉宾】

沈阳市全民健身中心主任 李德新 先生·沈阳市体育总会秘书长 苏春荣先生·日本驻沈阳总领事馆领事 三上裕史 先生·CKOU 会长 于汀 先生·CKOU 秘书长 张伦伟 先生·坂田良一先生 范士八段·田边秀昭先生 教士八段·宫本啓一先生 教士七段·仓都滋之先生 教士七段。比赛成绩:

【男子新人团体赛】

冠军:五轮馆 B

亚军:溧阳

季军:长春励志馆 B 大连嘉鸿馆 A

敢斗奖:北京剑道会 孙歌睿·大连嘉鸿馆 C 刘乃瑞·炼津舘 A 郑梁·沈阳正心馆 B 张团圆【男子团体赛】

冠军:炼津舘 B•

亚军:沈北成西深 联队

季军:炼津舘A 北溧联队。

敢斗奖: 东北联队 孙健·大连嘉鸿馆 A 董鹏·五轮馆 吴乃翔·北京剑道会 李云龙

【女子团体赛】

冠军:沈成深上联队

亚军:炼津舘

季军:剑元五轮联队 长北联队

敢斗奖:沈大联队 覃舒宁•哈尔滨冰峰馆 陈宣霖•沈阳正心馆 任亦丰•大连嘉鸿馆 孙月欣

在开幕式上,CKOU会长于汀先生特别就大家所关心的剑道在国内外的发展情况进行了介绍,为方便广大剑道爱好者理解,归纳为以下内容:剑道是国际化的武道体育项目,国际剑道联盟(FIK)自1970年创立,在全世界各国家和地区推行统一的技术口令和比赛规则,每三年一次,在各个国家和地区的加盟机构间举办世界剑道锦标赛(WKC),而且各 FIK 加盟机构在本国家或地区所颁发的段位和级位证书,可以获得其他 FIK 加盟团体的承认。

FIK 自 2006 年加入世界体育总会,(国际单项体育联合会总会,原简称 GAISF,后使用 sportaccord 的名称,是受到国际奥委会承认的国际体育组织),剑道的技术口令和比赛规则,如口令发音,行礼方式等,已受到世界体育总会的认可,即收到国际奥委会的认可,是国际化的规则和口令。

CKOU 自 2009 年开始,正式成为中国大陆地区唯一的 FIK 加盟机构,为中国大陆常驻的剑道练习者提供服务,在中国大陆举办受其他 FIK 加盟机构认可的段位和级位审查,并为中国大陆剑道练习者提供通过选拔参加世界剑道锦标赛的机会。

CKOU的初衷是使常驻中国大陆地区的剑道练习者能够通过简单便利的方式参加国际剑道联盟体系的剑道培训,认证和比赛,从而推广正确的剑道理念和技术,使剑道爱好者们从中获益。自 2009 年以来,也一直以此为目标努力,并已取得全球瞩目的成绩,包括在最近的 2015 年 16 届东京世锦赛上中

国队力克欧洲强队西班牙进入男子团体八强等。

凡有意进行 CKOU 注册的剑道练习者或团体,请与所在城市的 CKOU 联系人联络,以便就近获取 CKOU 的各种服务,如本地无 CKOU 联系人,直接与 CKOU 总部联络。

*大陆地区剑友参加段位审查须知

http://www.kendocn.net/shownews.asp?id=176

*各地 CKOU 联系人名录

http://www.kendocn.net/members.asp

講習会、9時開始。総領事館の文化部担当の三上領事も来てくださった。



祝辞を述べる三上領事。通訳は、張新玥さんの隣りの王(下の名前?) さん。

【坂田先生の挨拶と講話】

坂田先生の挨拶も終わった後、稽古着に着替えて、坂田先生の講話。あと、二段以下と 三段以上の二つに分かれて、二段以下は坂田先生が指導。おれが通訳。三段以上は田辺先 生が指導、女性剣士の王?が通訳。こちらは11時半に終わったが、田辺先生は12時過 ぎまで指導。

■坂田先生のご挨拶は以下の通り:

中国の剣道愛好者の皆様、おはようございます。この度、張新玥先生からお話を頂き、お招きいただいた私、坂田良一をはじめとする 5 人です。私共は、剣道を愛好し、剣道の素晴らしさを継承、発展、普及したいと日本でも剣道の指導を行っております。

剣を学ぶ者に、国の違いとか宗教の違いなどは全く関係の無いと思います。

剣道は、古くは人を殺める技から、今は人を活かす技へと変質させた特異な文化です。つまり戦技としての実用性を離れ、幅広い目的と内容を持つスポーツとして、現代剣道が内包している伝統的特性の理解や、その存在価値の認識、伝承の方向性をこの機会に皆様方と共に修行して勉強したいと思います。

日本茶道の教えの中に「一期一会」と云う心得があります。生涯にただ一度、まみえるの意、 将に今回の皆様方と私等の出会いそのものです。剣道を通じ仲良く楽しく友情を育てたいと思っ ています。

私、この町で5歳位まで育ち懐かしく一度行ってみたいとの思い、心の中に生き続けていま したが張新玥先生のお陰でこの様な素敵な催しに参加することが出来ましたことを深く感謝し ております。

■坂田先生の講話は以下の通り(少しだけ手を加えた)。これは拙訳も付す:

日本剣道の伝統文化

何処の国にも人類の発展と共に戦いに勝つ方法として武器の使用による格闘技が残されており、その文化が大なり小なり伝統文化として競技的特性を有する形で継承されている。日本国も全く同様、自分らの家族や仲間民族を守る為に日本刀が作成された。

そして、蛮勇だけでは勝てない事から、日本刀の操作研究がなされた。

日本刀の特徴はまず両手で操作する、切れ味が鋭い、両手で操作しなければならないことから刀の操作がむずかしい、いずれの手にも力が入り過ぎると刃筋が立たず切れないといった点にあり、刀法を操るためにその操作技術を学び向上を図る必要があった。

この刀の特性を生かした刀法と技術の訓練として発展したのが日本の剣道文化、それが「人間形成の道」として人間教育に取り入れられるようになった。

=

なぜ命を懸けた格闘技が「人間形成の道」なのか。生きるか死ぬかの戦いであるからこそ真実の人間のあり方が問われる要素が大きく、真実の人間愛が育ち人間のあり方が問はれるからだと私は考える。元を正せば戦いに勝つ方法・修練の方法として闘争の形態をしていることにより、時には本能的闘争心が表面化することもある。考えても解るとおり稽古に置いて相手の頭・腹部・小手・喉を棒で叩いたり突いたり、こんな非常に無礼な行為が剣道の稽古である。

剣道の教えの中に「剣道は礼に始まり礼に終わる」と剣道の理念を 強くうち出してい

るが、互いに尊敬しあい嫌われる行為を慎み、相手が居るから稽古もできるのだといった 思いを持ってやれば、本能的闘争心を表面化することは避けられる。

Ξ

剣道の理念と教育剣道の理念。「剣道は、剣の理法の修練による人間形成の道である」は 試合剣道の流行に歯止めをかけようとした山岡鉄舟の無刀流の思想を受け継いでいるが、 技法はその剣術の流れをくんでいるという矛盾を持っている。山岡鉄舟は「無刀琉は勝負 を争わず」としたが、その技法の一般化をみなかったことを考えるとき、競技の進行と理 念の間にできてくる様々の隔たりを埋める為には、「日本剣道形の修練」を行い、「剣道講 話」を学ぶ等のことが必要である。また「気・剣・体」の一致や一騎打ちの美学を反映す る剣道独自の競技特性を通じて、自己修練を生涯教育位置づけて、装いを新たにしながら、 剣道を継承し発展させねばならない。

拙訳:

日本剑道-其传统文化和教育剑道

坂田良一(剑道八段)

前言

在人类文明和文化的发展中,任何国家都在逐渐拥有武器的过程中,不断精进其使用技术及其相关文化。虽然规模有大小,但其中相当一部分被以竞技的形式,作为传统文化部分继承下来。

日本和别的国家一样,为了卫护自己的家族、朋友和民族,很早就制成了日本刀,而且一直在研究探讨其操作方法。

一, 日本刀的特点

日本刀的特点:1,两手操作。2,很锋利。因用两手操作,操法较难,不论哪边手用力过度大,都会使锋利度锐减。因此这成为学习日本刀操作方法而不断提高其技术的难点。

日本的剑道文化,即根据日本刀的这种特性,发挥其特点,作为刀法技术的训练方式而发展起来的。而且这种文化作为"形成人格的道",被吸收入人格教育。

二,拼命战斗的武术为什么是"形成人格的道"?

我认为,在生死关头,人性的真实经受最严重的考验。正是在此处,能发掘出人与人相互之间真实的博爱、 尊重以及诚实精神。

剑道本来是以打败敌方为目的的一种格斗技术,因此往往突显人发自生存本能的搏斗精神。用特制的棒子击 打对方的头部、腹部、咽部等,这些看上去极端失礼的行为动作,就是剑道练习的内容。

剑道的古训中很强调"以礼开始以礼结束"的理念。练习时应该互相尊重对方(的人格和身体),互相慎出被讨厌的行为。保持有你才能练习的使对方感谢的精神,才可避免生存本能的表面化。

三, 剑道的理念与教育剑道的理念

"剑道是通过锻炼剑法过程中的理法,进而形成人格的道",这一理念的确立,继承了山冈铁舟先生

(1836-1888) 曾想制止剑道比赛流行的思想。但是其"理法"是吸收古来剑术的格斗技法而成立的。这里不无深刻的矛盾。

山冈先生说;"无刀法不可争胜负",但其技法没有被广泛接受。为了克服剑道理念和竞技实际之间发生的矛盾,我们应该遵循"日本剑道形"、"剑道讲话(小川忠太郎著)"等而掌握其理念。同时在学习其技法中,应重视以"气、剑、体的一致"、"一对一"为美的剑道独特的竞技特点。如此边吸收边发展,我们应该把剑道修炼在生涯教育中定立、创造新的剑道历史。



講習会に全国から集まった剣士たち。

【審判講習】

午後は1時半から、審判講習。模擬試合をさせて、それを注意するという形。講習の成果は抜群、13日によくわかった(講習前とはまるでちがう、メリハリの利いた審判を、皆さんされていた)。



審判講習。田辺先生の指導。



審判講習で。田辺先生の指導。



模擬試合による審判講習。

【稽古】

審判講習の後、3時半頃から稽古。まわり稽古をしばらくして、あと5時過ぎまで自由稽古。5人が本立ちになり、140人ほどの剣士が、次から次へとかかってきてくれた。おれにも10数人の剣士がかかってきてくれた。しんどいけれども、こういう時はけっこうやれる。



まわり稽古。一分半ほどの立ち合いごとに、右に移動し、相手を変えて稽古する。

夜、講習会参加者がたくさん(全員に近い)、晩餐に参加した。店は「大舜火鍋」(和平区同沢南街 39 号)。



張新玥さん、開宴の挨拶。

帰り、倉都先生と同じ車になった。ホテルに着いた後、二人で、ホテル近くの夜の瀋陽を散策。市民たち(女性が多かった)が、楽しそうに踊っているのを見た。中国では、どこに行っても見る風景。



ダンスの合間にひと休みの風景。

あと、「双味餃子店」だったか、餃子専門の店で、セロリ餃子と三鮮餃子を一人前ずつ (蒸し餃子、一皿 12 個くらい入っていたか?) と白酒を食べ、飲みつつ、剣道のことはじめ、いろんな話をした。

9月13日(日)

朝、倉都先生を空港に送っていった。病院の副院長で、仕事のためやむなくこの日に帰られた。フライトはCZ611、桃仙空港、8:35 発。関空、12:10 着。

帰ってきたのは8時半。ホテルでご飯を食べ、少しだけ休んで、健身センターへ。みな、どうしていたのかとびっくりした。そうなのだ、張さんにだけ倉都先生を送ることをいって、他の人には告げていなかった。で、朝、大騒ぎになったのだ。申し訳ない。てっきり、誰かに告げていると思っていた。というより、張さんが迎えにいった時、皆に言ってくれるものと思っていたのか。

この空港行きにも問題があった。銀行員の馬さんに車の手配を頼んだのだが、この運転手の人が待っているというので、「30 分ほど後で」と約束したのだが、7 時 50 分か 8 時前まで車を探したのだが、彼が言っていた停車位置に結局見つけることができず、タクシーでホテルにもどったのだ。車は待っていたらしい。しかし、あの時間には確かにあのあ

たりにいなかった。もっとも車の色も白か黒かさえ覚えていなかった。しかし、いたなら、 おれの姿が目に入らないわけはない。わからん。

この日は、坂田・田辺・宮本三先生は審判員の服装(紺のジャケット・グレイのズボン・赤いネクタイ)。おれは、審判員は免除(できないので外してもらった)、黒のジャケット・黒のずぼん・赤地に黒っぽい花を散らしたネクタイ。

- ・試合は、9時半頃開始。
- ・昼前、徐金鵬君(瀋陽育才外国語学校卒、名古屋大学物理工学科一回生。大学の中文同期中谷豊君の学生で、彼が中谷君に稽古を見に来てくれと勧めたのが、今回の交流の始まり)が現れて、馬筵宏・王紅亮・徐金鵬三人の写真を撮った。



馬筵宏・王紅亮・徐金鵬 (みな、張新玥さんの弟子)

・試合は、表彰が終わったのが5時半。

男子新人团体戦の優勝は、五輪館。準優勝は溧陽チーム。

女子団体の優勝は、沈成深上(瀋陽・成都・深圳・上海)聯合チーム。準優勝は、北京の煉 津館。



女子団体優勝チーム、成都のエリザベス(中国名、張麗鋒?)。アメリカで中学生の時、剣道を始めた。 数年前から、成都で英語の教師をしている。



女子団体優勝チーム。左は于汀さん。

男子団体(5人)の優勝は剣道連盟会長、于汀が率いる北京の煉津館。



于汀さん

準優勝は、沈北成西深(瀋陽・北京・成都・西安・深圳)聯合チーム。準優勝は、春、東京で開かれた世界大会のチーム。



男子団体優勝、北京の煉津館チーム。選手の右端が中国剣道連盟会長于汀さん



全ての試合終了、審判終わって。

あと、貴賓室で休み、6時10分頃に出た。

夜は、「大舜火鍋」(和平区同沢南街 39 号) という「火鍋 huoguo」の店。防具屋 (三栄武道具) の人、3 人も参加した (この会社の小手の手刺で良いものは、日本で 30 万で売られているという)。宮本先生がホテルに連れられていってしまって、来られるのを待ち、ちゃんと食べ始めるのは 7 時半になった。



坂田先生が、王巍巍の試合の時の動作を見て、何か病気なのでは?と思ったという。実際、彼は左足に炎症を起こしていて試合に出られる状態ではなかった。席は、左横に、于汀(中国剣道連盟会長、39歳、五段)さん。あと3年かで、六段を受けられるという。



奥さま提供。大舜火鍋で。左から張倫偉秘書長(英語が上手だった)、エリザベス、坂田先生、王巍巍、 筆者。

今日は、倉都先生を空港まで送って、ホテルに帰ってきたら 8 時半、ご飯食べて会場

へ。試合は3種類あって、終わったのは5時半。さすがに男子団体5人のリーグ戦、決勝は迫力があった。世界大会に出た選手がほとんそそのままのチームで出ていた。それを負かして優勝したのが中国剣道連盟の会長が率いる北京のチーム。勉強になった。

明日は観光。夜、招いてくれた張さんの道場で稽古する。

左足が少し痛い。たくさん寝ましょう。明日は10時に迎えに来てくれるので、安心して眠ることができる。

今回は、いろんなものをなくす。今日は、いつもかぶってるボルサリーノの帽子を会場でなくした。置いてあったはずのところになし。あんなものとる人がいるとも思えない。何かといっしょに気づかずに移動したのか? ま、これも買えばいいもので、どうということはない。さらになくなるものがないように気をつけましょう。

もう一つはバッグだ。それを忘れたことに部屋のカードを入れる紙を探していて気づいた。帽子もこれに入っていたのだ。情けない、どうする?これも諦めてもいい。中に大事なものは入っていない。ノートの切れ端に、バッグの絵を画き、張さんに頼めるようにした。

9月14日(月)

午前、10時出発。張さん運転の車に、坂田先生夫妻と俺。馬さん運転の車に、田辺 先生と宮本先生。坂田先生が幼年期を過ごした所に行った。張さん、調べてくれていて、 八一公園(満州国時代の奉天公園)の南(瀋陽駅と故宮のちょうど中間あたり)、いまの交通銀行、 かつての税務署の建物に連れていってくれた。坂田先生、建物を見あげながら「おやじ… …」と、感無量の体だった。



満州国時代の税務署、後イギリスの銀行になり、今は、交通銀行。

昼は中街の「老辺餃子館」(皇帝お達しの餃子だった)で。いろんな餃子が出た。皆の感想、「味が上品」。初日の餃子のほうがうまかった。



老辺餃子館の焼餃子 (煎餅)

午後は観光。故宮*に行った。



故宮入り口

*wikipediaの記事を貼り付けておく。故宮は、**瀋陽故宮**(しんようこきゅう 中国語:沈阳故宮(<u>簡体字</u>), 瀋陽故宮(繁体字) 拼音: Shěnyáng Gùgōng)は、中国の遼寧省瀋陽市内に残る清朝の離宮である。**盛京** 皇宮と呼ばれていた。北京の故宮と並んで、保存状態の良い後金時代の皇居である。建築様式は漢民族、 満州民族、蒙古民族の様式が融合している。規模は、北京の故宮の12分の1である。1625年に建てられ た後金の2人の皇帝・ヌルハチとホンタイジの皇居で、<u>清</u>の入関後は引き続き離宮として用いられた。

1961年に、中華人民共和国の全国重点文物保護単位に指定、2004年にはユネスコの世界遺産(文化遺産)、 北京と瀋陽の明・清王朝皇宮に追加登録された。現在は、瀋陽故宮博物院として一般公開されている。



田邊先生・坂田先生・奥さま・宮本先生

故宮の観光で通訳に苦労した。張さんがガイドを雇ってしまったので、その通訳をすることになった。清朝の皇帝のことなんて、ほとんど勉強してない。ちょっと手間取った。 あれはまああんなもの。でも疲れた。

4時半~5時半、ホテルで休んだ。5時半出発、張さんの道場の「正心館」へ。健身中心の隣り、やはり市の施設の体育ビルの4階にある。今年の2月、入居したとか。

6 時~8 時、稽古。初め、素振りなど基本を教え、6 時 45 分から 20 分程度、まわり稽 古。7 時 15 分から 8 時まで自由稽古。 4 人が本立ちになり、稽古した。宮本先生は最初、 初心者を教え、後で本立ちに立たれたもよう。参加者は 20 名強。初心者も何人かいた。試 合に出た馬靚さんも稽古に。王巍巍とアメリカ人の女性剣士エリザベスさんも見取り稽古 に。



坂田先生の気迫が伝わる。相手、のけぞっている。



田邊先生

楽しかった。坂田先生の話の通訳、皆への話も個人への指導の時も。だいぶ慣れてきた。

本立ちは、最後までせず、早めに切り上げて、田邊先生にかかった。稽古の後。田辺先生のご指導:

- ■打とうという気持ちが強すぎる。
- ■攻めて、ためる。ためるから、速い相手に勝つことができる。相手を上回る。



下定の稽古姿。なんか気迫が足りない。

夜は、ホテル近くの「楊媽媽」、お粥の店。チェーン店。鉄西店だ、鉄西区建設東路 29 号。お粥がうまかった。



楊媽媽の料理、お粥他。

明日は観光だけ。明後日の飛行機が早いから、明日の稽古はしない。

バッグは、張さんの道場にちゃんと保管してあった。これでなくしたのは、メガネだけになった。何度もいうけど(自分への言い聞かせ)新調のいい機会になった。新しいメガネが楽しみ。

9月15日 (火)

15 日朝、7 時半頃か。田辺先生が部屋に来られて、昨夜の店「楊媽媽」にバッグを忘れたという。パスポート・財布が入っている。すぐに、二人で「楊媽媽」へ。店は開いていて、ちゃんと保管してあった。部屋にもどり、しばらくすると、田辺先生が、コーヒーセットを持って、部屋に来られ、「お礼」だと、剣道の指導をしてくださった。

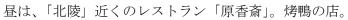
- ■構え、重心のかけかた。やや前にかける。右足、親指でしっかり床をとらえる。前傾だと思っても、鏡を見たらまっすぐになっている。重心を前にかけていって倒れそうになるところで、出る。自然に身体全体が前に出る。左足の引きつけ。
- ■敵が出てきたら、さばく練習をする。
- ■張新玥さんと同じだ。打つ時、飛んでいる。彼は左に。下定は右に。
- ■柄革を三八に。柄革が長いと、どうしても力が入る。

午前、10時出発。張さん、大型のワゴンで迎えに来てくれた。午前、九・一八歴史

博物館。日本の東北部への侵略、残虐行為が、時期を追って様々な資料で展示されている。 これは沈鬱な思いになった。



※満州事変の始まったいきさつを記してある。日暦(日めくり)を象った巨大なモニュメント





田邊先生、ガイドの徐曉蕾、正子さん

・・ 体、転写: eldengge munggan) は、中国遼寧省の瀋陽市の市街地北部にある後金の2代目、<u>清</u>の初代皇帝である太宗ホンタイジとその妻・孝文端皇后の陵墓である。瀋陽市の北部にあることから**北陵**とも。陵墓、建築物などは現在でも良好な状態を残し、清朝初期の技術・建築文化の一端を知ることができる。2004年にユネスコの世界遺産の明・清王朝の皇帝墓群の一部として追加登録された。規模は清の関外三陵(他の二陵は福陵と永陵。)のうち最大。また現在、周囲は瀋陽で1番大きな公園・「北陵公園」となっており、自由な散策が可能である。



坂田先生・奥さま



坂田先生・宮本先生

夜は、北朝鮮料理のレストラン、「平壌館」(瀋陽市北西部西塔[コリアン街]に在る、瀋陽駅の 北北東)で。



平壌館入り口

張さんによるとここの服務員は、全員、北朝鮮の幹部の娘らしい。



服務員たちの演奏。



服務員たちの演技

■この時の張さんの話:

- ・今回の費用は、日本円で200万、収入は150万円。
- ・今回、試合への参加者には、中国剣道連盟から補助が出ている。
- ・中国では、五段が2人、四段が5人、三段が30数人。東北では張さんだけが四段。
- ・2007年か、道場を始めた頃は、瀋陽で剣道をする人は500人ほどいたが、その後、減少。今は、100数十名。ただし、大学を出て他の町に就職し、剣道を続けている人も多い。
- ・近いうちに、瀋陽市体育局の指導の下、「瀋陽剣道協会」を設立する。
- ・瀋陽の大学、東北大学・瀋陽大学・中国医科大学に剣道部がある。それぞれ 20 名程度の 部員
- ・来年4月、各地の館長、学生が大阪を訪問。指導法を学ぶと共に、昇段審査を受けさせたい。

夜、ホテルで。仕事は全部終わった。今夜も、坂田先生からの質問・張さんの答えの 通訳で、ご飯あまり食べなかった。ま、中国語はまた少し上達したでしょう。

明日は6時半出発。先生方に6時20分にロビーとお願いした。チェックアウトがあるので。

いま 9 時 20 分。もう寝る。荷物をまとめないといけないけれど、今晩はとても無理。 明日 5 時にめざましを合わせた。

9月16日 (水)

飛行機は CZ611。桃仙空港、8:35 発。関空着、12:10。

3時前に帰宅。坂田先生が車で送ってくれた。

荷物を出して、しばらくテレビを見ながら横になて、ちょっと元気が出た。

今日は、休むだけ。

眼鏡を作るのは明日、元気になってからにしましょう。

■倉都先生へのメールのコピー:

今朝、同じく 8:35、CZ611 の便で、12 時過ぎ、無事関空に到着。田辺先生は、阿蘇の噴火で、熊本への便を心配されていましたが (実際、午前は欠航)、午後は飛ぶということで、伊丹 4 時頃の飛行機で無事熊本に着かれたはずです。宮本先生はご夫人出迎え。私は、坂田先生ご夫妻の車で、拙宅まで送っていただき (家が車で5分ほど、すぐ近くなのです)、全員無事に帰宅しました。

先生と、餃子も食べ、酒も呑み、ゆっくりお話できたのは、本当に楽しくありがたい ことでした。

張さんは、中国の剣道の発展、とりわけ東北三省の剣道の発展を進めていく「関鍵人物」、最重要の中心人物であること、今回改めてわかりました。来年も確実に、今回のような企画を持つようです。来年もよろしくお願いいたします。

写真など、明日以後、おいおい添附で送らせていただきます。